

17. 教育職員免許状の取得について

2026年度以降入学者用

本学部の学生で、教育職員免許法及び同法施行規則により定められた単位を修得した者は、次の免許状を取得することができる。

はじめに

「子ども性暴力防止法」に基づく教育実習の取扱いについて【留意事項】

「子ども性暴力防止法」に基づき、教員免許状取得に必須である教育実習の前に実習校から特定性犯罪前科の事実確認が行われる可能性があります。この手続で当該前科が確認された場合は教育実習を行うことができないため、教員免許状の取得ができなくなりますので留意してください。また、教育実習履修希望者は、教育実習の前段階で、この取扱いに対する「同意書」及び当該前科がないことの「誓約書」を大学に提出していただく必要があります。

※「子ども性暴力防止法」の詳細については、子ども家庭庁のホームページでご確認ください。

1. 免許状の種類及び免許教科

教育職員免許状の種類	免許教科
中学校教諭一種免許状	社会、国語、英語
高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民、国語、英語

2. 基礎資格及び必要修得単位数

免許状の種類	基礎資格	必要最低単位数						介護等体験
		① 文部科学省令で定める科目	② 教科及び教科の指導法に関する科目	③ 教育の基礎的理解に関する科目	④ 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	⑤ 教育実践に関する科目	⑥ 大学が独自に設定する科目	
中学校教諭一種	学士の学位を有すること	8	28 (注1)	10	11 (注2)	7	4 (注3)	必要
高等学校教諭一種	学士の学位を有すること	8	24 (注1)	10	9 (注2)	5	12 (注3)	不要

(注1) 取得しようとする免許教科の「②教科及び教科の指導法に関する科目」から修得すること。

また、「各教科の指導法」は、中学校免許8単位以上、高等学校免許4単位以上修得すること。

(注2) 免許法で求められるより1単位多く修得することになります。この1単位は、「⑥大学が独自に設定する科目」の単位にあてることができます。また、中学校、高等学校の両方の免許取得希望者が、教育実習5単位を修得した場合、高等学校免許申請時に「教育実践に関する科目・教育実習2単位(中学校免許5単位と、高等学校免許3単位の差)」を「⑥大学が独自に設定する科目」にあてることができます。

(注3) 「⑥大学が独自に設定する科目」は、必要最低単位数を超えて修得した「②教科及び教科の指導法に関する科目」、「③教育の基礎的理解に関する科目」、「④道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「⑤教育実践に関する科目」の授業科目が該当します。

3. 介護等の体験

(1) 中学校免許取得希望者は、必ず社会福祉施設等において7日間の「介護等体験」を行うこと。

(2) 介護等体験は原則2年次で体験すること。

(3) 介護等体験に参加するには、別途指示する時期(1月頃)に申し込みのうえ、必ず事前指導を受けること。

事前指導を受講しなければ体験には参加できません。

(4) 介護等体験の手続きまたは体験に係る注意事項などは、講義棟1階教職関係の掲示板や Moodle 等の各種システムへの掲載でお知らせするので、定期的に確認をすること。

4. 免許状取得に関する単位の修得方法

【1:全学共通科目, 英語科目】

<中一種免, 高一種免共通: 8単位必修>

科目	授業科目	必要修得 単位数	履修方法
①文部科学省令で定める科目	日本国憲法	2	●必修
	するスポーツ演習	1	
	健康・スポーツ科学	1	
	コミュニケーション英語(S&L)	2	
	情報処理入門1(情報機器の操作を含む)	1	} ○選択必修
	情報処理入門2(情報機器の操作を含む)	1	
情報処理入門3(情報機器の操作を含む)	1		
必要合計単位		8	

【2:教育学部開講科目】

◇『43頁 ※教育学部開講科目の履修にあたっての注意事項』を参照の上、履修してください。

<中学校のみ、又は中学校と高等学校の両方の免許状を取得する場合>

科目	各科目に含める必要事項	授業科目	単 位	履修		必要修得単位数			
				年次	方法	中免	教育実習 履修資格		
②教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	(免許ごとの教科に関する専門的事項)※43頁以降を参照。	20	2~ (*)	●必修	20	/		
	各教科の指導法	(免許ごとの教科の指導法)※42頁を参照。	8	2 (*)		8		2	
③教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概説B	2	1		2		4	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論B	1	2		1			1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と社会ⅠB	1	2		○選択			2
		教育の制度と社会ⅡB	1	2					2
	人権・同和教育B	2	1	2		2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概説ⅠB 教育心理学概説ⅡB	1 1	1		2			4
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の基本B	1	3		1			1
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラムマネジメントを含む。)	カリキュラム論B	2	2	2		2			
④道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論B	2	3	●必修	2	6		
	総合的な学習の時間の指導法 総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法B	1	1		1			
	特別活動の指導法	特別活動論B	1	1		1			
	教育の方法及び技術	教育方法論B	2	2		2		2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT 活用の理論と方法B	1	2		1		1	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論ⅠB 生徒指導論ⅡB	1 1	2		2		2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談論B	1	3		1		1	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論B	1	3		1		1	
⑤教育実践に関する科目	教育実習	教育実習基礎研究B	1	3	1	/			
		教育実習Ⅱ(中学校B)	4	4	4				
	教職実践演習	教職実践演習B(中・高)	2	4	2				
必要合計単位数						56	12	4	
							16		

(*)各教科により履修年次が異なります。また、複数教科を取得する場合は免許教科ごとに単位を履修すること。

上記の表で示す単位数に加え、①文部科学省令で定める科目8単位、②大学が独自に設定する科目4単位の修得が必要です。『39頁 2. 基礎資格及び必要修得単位数』を参照してください。

<高等学校のみの教員免許状を取得する場合>

科目	各科目に含める必要事項	授業科目	単 位	履修		必要修得単位数		
				年次	方法	高免	教育実習 履修資格	
②教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	(免許ごとの教科に関する専門的事項)※43頁以降を参照。	20	2~ (*)	●必修	20	2	
	各教科の指導法	(免許ごとの教科の指導法)※42頁を参照。	4	2 (*)		4		
③教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概説B	2	1		2	4	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論B	1	2		1		1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と社会ⅠB	1	2		2		2
		教育の制度と社会ⅡB	1					
	人権・同和教育B	2	1	○選択				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学概説ⅠB 教育心理学概説ⅡB	1 1	1	2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の基本B	1	3	1			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラムマネジメントを含む。)	カリキュラム論B	2	2	2				
④道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法B	1	1	●必修	1	6	
	特別活動の指導法	特別活動論B	1	1		1		
	教育の方法及び技術	教育方法論B	2	2		2		2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT活用の理論と方法B	1	2		1		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論ⅠB 生徒指導論ⅡB	1 1	2		2		2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談論B	1	3		1		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論B	1	3		1		
⑤教育実践に関する科目	教育実習	教育実習基礎研究B	1	3	1	2		
		教育実習Ⅱ(高等学校B)	2	4	2			
	教職実践演習	教職実践演習B(中・高)	2	4	2			
必要合計単位						48	12	4
							16	

(*各教科により履修年次が異なります。また、複数教科を取得する場合は免許教科ごとに単位を履修すること。

上記の表で示す単位数に加え、①文部科学省令で定める科目8単位、②大学が独自に設定する科目12単位の修得が必要です。『39頁 2. 基礎資格及び必要修得単位数』を参照してください。

(2)教科及び教科の指導法に関する科目 - 各教科の指導法)

免許教科	授業科目名	単位	年次	履修方法	
				中学	高校
国語	中等国語科指導法基礎B	2	1	●必修	●必修
	中等国語科指導法ⅠB	2	2		
	中等国語科指導法ⅡB	2	2		/
	中等国語科指導法開発ⅠB	2	3		
社会 地理歴史 公民	中等社会科・地理歴史科指導法基礎B	1	1	●必修	地歴のみ ●必修
	中等社会科・地理歴史科指導法ⅠB	1	2		
	中等社会科・地理歴史科指導法ⅡB	1	2		
	中等社会科・地理歴史科指導法開発ⅠB	1	3		
	中等社会科・公民科指導法基礎B	1	1		公民のみ ●必修
	中等社会科・公民科指導法ⅠB	1	2		
	中等社会科・公民科指導法ⅡB	1	2		
	中等社会科・公民科指導法開発ⅠB	1	3		
英語	中等英語科指導法基礎B	2	1	●必修	●必修
	中等英語科指導法ⅠB	2	2		
	中等英語科指導法ⅡB	2	2		/
	中等英語科指導法開発ⅠB	2	3		

※教育学部開講科目の履修にあたっての注意事項

- ・教育学部開講科目の時間割等は、【教育学部「各教科の指導法及び教育の基礎的理解に関する科目等」開講一覧】を参照してください。Moodle「文学部教務コース」に掲載しています。なお、時間割の変更等については、教育学部講義棟掲示板で確認してください。また、集中講義の日程教室については別途通知します。
- ・科目や履修方法、開講時期等について変更がある場合は掲示等で通知します。教育学部講義棟掲示板及び Moodle「文学部教務コース」からの通知を必ず確認するよう注意してください。

【3:文学部開講科目】 (②教科及び教科の指導法に関する科目 - 教科に関する専門的事項)

◇『39頁 2. 基礎資格及び必要修得単位数』を確認の上、履修をしてください。

<中学校教諭一種普通免許状(国語)高等学校教諭一種普通免許状(国語)>

中一種国語	高一種国語	授業科目	備考
国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○ 人文学概説(日本語学1)	○印必修。
		○ 人文学概説(日本語学2)	
		○ 人文学講義(日本語学)	
		人文学講義(現代日本語学 a)	
		人文学講義(現代日本語学 b)	
		人文学講義(現代日本語学)	
		人文学講義(日本語教育学)	
		人文学講義(言語学1)	
国文学(国文学史を含む。)	国文学(国文学史を含む。)	○ 人文学概説(日本文学1)	○印必修。
		○ 人文学概説(日本文学2)	
		人文学講義(日本文学 a)	
		人文学講義(日本文学 b)	
		実践演習(日本文学 a)	
		実践演習(日本文学 b)	
		実践演習(日本文学)	
		実践演習(日本文学)	
漢文学	漢文学	◆ 人文学概説(中国言語文化学1)	◆印か◇印いずれかを選択必修。
		◇ 人文学概説(中国言語文化学2)	
		人文学講義(中国言語文化学)	
書道(書写を中心とする。)	注)右欄の授業科目は高一種国語の教科に関する科目にはならない。	○ 中等国語科内容論(書写書道概論) [教育学部開講]	○印必修

<中学校教諭一種普通免許状(英語)高等学校教諭一種普通免許状(英語)>

中一種英語	高一種英語	授業科目	備考
英語学	英語学	○ 人文学概説(英語学)	○印必修。
		人文学講義(英語学)	
		実践演習(英語学1)	
		実践演習(英語学2)	
英語文学	英語文学	○ 人文学概説(英語圏文学)	○印必修。
		人文学講義(英語圏文学)	
		実践演習(英語圏文学)	
英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	英語表現法	○印必修。
		○ 英語コミュニケーション1	
		英語コミュニケーション2	
異文化理解	異文化理解	○ 異文化理解	○印必修。
		時事英語	

◇『39頁 2. 基礎資格及び必要修得単位数』を確認の上、履修をしてください。

<中学校教諭一種普通免許状(社会)高等学校教諭一種普通免許状(地理歴史)・(公民)>

中一種社会	高一種地歴	高一種公民	授業科目	備考
日本史・ 外国史	日本史	注)右欄の授業科目は、高一種公民の教科に関する科目にはならない。	◆ 人文学概説(日本史1)	◆印か◇印いずれかを 選択必修。
	◇ 人文学概説(日本史2)			
人文学概説(考古学1)				
人文学概説(考古学2)				
人文学講義(日本美術史 a)				
人文学講義(日本美術史 b)				
人文学講義(日本史)				
人文学講義(考古学)				
実践演習(日本美術史 a)				
実践演習(日本美術史 b)				
実践演習(日本史)				
実践演習(地域歴史遺産)				
実践演習(考古学)				
■ 人文学概説(アジア史1)	■印か□印いずれかを 選択必修。			
□ 人文学概説(アジア史2)				
▲ 人文学概説(西洋史1)			▲印か△印いずれかを 選択必修。	
△ 人文学概説(西洋史2)				
人文学講義(西洋美術史 a)				
人文学講義(西洋美術史 b)				
人文学講義(アジア史)				
人文学講義(西洋史)				
人文学講義(文化交流史)				
実践演習(西洋美術史)				
実践演習(アジア史)				
実践演習(西洋史)				
地理学 (地誌を含む。)	人文地理学及び 自然地理学	注)右欄の授業科目は、高一種地歴の教科に関する科目にはならない。	○ 人文学概説(人文地理学)	○印必修。
	地誌		○ 人文学概説(自然地理学)	
			○ 人文学概説(地誌学)	
			人文学講義(地理学)	
実践演習(地理学)				
「法学、政治学」	「法学(国際法を含む。),政治学(国際政治を含む。)」	○ 中等社会科内容論(法学概論Ⅰ) [教育学部開講]	○印必修。	
○ 中等社会科内容論(政治学概論Ⅰ) [教育学部開講]				
「社会学、経済学」	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	○ 人文学概説(社会学1)	○印必修	
○ 人文学概説(社会学2)				
人文学概説(文化人類学 a)				
人文学概説(文化人類学 b)				
人文学講義(社会学 a)				
人文学講義(社会学 b)				
人文学講義(文化人類学 a)				
人文学講義(文化人類学 b)				
実践演習(フィールド調査)				
「哲学、倫理学、 宗教学」	「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	▼ 人文学概説(哲学1)	▼印か▽印いずれかを 選択必修。	
		▽ 人文学概説(倫理学1)		
		人文学概説(哲学2)		
		人文学概説(倫理学2a)		
		人文学概説(倫理学2b)		
人文学概説(西洋思想史)	a, bで科目が分かれて いる場合はどちらも修得 すること			

			人文学概説(日本思想史 a)	
			人文学概説(日本思想史 b)	
			人文学概説(美学 a)	
			人文学概説(美学 b)	
			人文学講義(哲学)	
			人文学講義(倫理学)	
			人文学講義(日本思想史)	
			人文学講義(美学 a)	
			人文学講義(美学 b)	
			実践演習(哲学)	
			実践演習(倫理学)	
			実践演習(思想史 a)	
			実践演習(思想史 b)	
			実践演習(美学 a)	
			実践演習(美学 b)	